

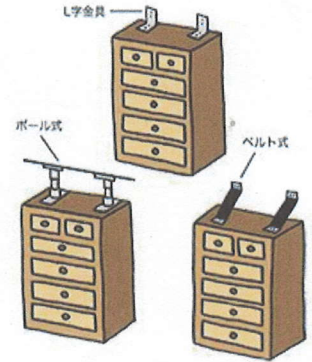
令和6年度防災部総会、新部長に田中一雄氏を選出

防災部総会(4月7日)で令和5年度活動報告及び令和6年度活動予定(案)、会計報告、会計監査の内容が承認され、役員改選で令和3年から部長を務められた高橋修一氏に代わって田中一雄氏が選出されました。町会の皆様ご協力宜しくお願い申し上げます。今年に入って大きな地震が日本や台湾で頻発しています。船田町会エリアでもいつ起こるか分かりません。地震による被害を最小限にとどめるためには、まず一人ひとりが地震に備えることが大切です。被害エリアが大きいと防災部の備蓄だけではとても足りません。電気や水道などのライフラインが止まっても、物資の配給が届きだすまで自力で生活できるよう、各家庭で最低3日分(飲料水、非常食1日3食など)を備蓄しておきましょう。

□家具転倒防止金具取付支援実施



家具転倒防止や火災報知器は地震や火事の対策に、とても重要ですので今年も実施します。一人暮らし・高齢者世帯の希望者は防災部までご連絡ください(取付金具、火災報知器は自費)就寝中の地震に備えて、普段から寝具の周りに落下して危ない物がないか確認し、ガラスの破片で怪我をしないよう、スリッパや懐中電灯などを寝具の近くに置いておきましょう。



□防災部員募集中



総会の中で「防災部を担う人材が増えていない」「防災活動には女性が必要不可欠」という意見がありました。防災部員は現在男性17名で活動しています。740世帯に対応する部隊としてはとても少ないので30名位を目標に部員の募集をしています。特に女性の防災部員がいないと子供や若者、高齢者、障害者等の多様な方々の声に応えることは到底できません。要配慮者対応においても女性と男性で受ける影響やニーズへのきめ細かな対応が重要です。女性部員は防災活動にとって必要不可欠な存在ですので積極的な参加をお願い致します。ご協力いただける方は田中一雄までご連絡ください。

□安否確認カードは玄関内の見える場所に保管してください

安否確認カードを配ったが「各家庭で直ぐ出せる場所にあるかどうか?」「ほとんどの家庭で何処かに隠れてないのではないか」という意見がありました。災害はいつ起こるか分かりません。安否確認訓練は定期的に実施しないと、大規模災害があった時に使い物にならないので、毎年実施を検討しています。安否確認カードを玄関内の見える場所に保管して、いつ災害が起きても掲示できるようにしてください。



船田町会エリアは地震による火災発生の可能性が高い



今年に入って1月1日石川県能登地方(震源地M7.6)4月17日豊後水道(震源地M6.6)台湾では4月3日花蓮県沖(震源地M7.7)4月23日(震源地M6以上の地震が2度)発生しました。船田町会エリアでも、いつ地震が発生するか分かりません。船田町会エリアで地震が発生した場合は阪神・淡路大震災のような地震による倒壊よりも火災による被害が大きくなる可能性が高いです。災害に対する備えとしては真っ先に火災による被害が最小限になるような対策が必要だと思います。家具転倒防止や火災報知器は被害の軽減につながります。それと日頃から近隣との繋がり持つておくことはとても重要です(倒壊から救助したのは隣近所と消防団、行政の手は回らない)自分達の町は自分達で守りましょう。

日頃の備えで大事なことは?

- ① 家の中の安全対策(大型テレビや家具の固定・ガラスに飛散防止フィルム)
- ② 避難場所や避難経路の確認(長房小学校・11区は船田小学校)
- ③ 非常備蓄品や持ち出し品などの確認(いつでもすぐに持ち出せるよう備えておく)
- ④ 家族の連絡方法などを確認(災害用伝言サービスの利用方法を確認)
- ⑤ 防災訓練に参加(災害が発生したとき、慌てずに身を守るため積極的に参加しましょう)